

独立国 MIYAZAKI

~宮崎都市化計画~

TAKEOs ~オカメインコ~

川畑 喜祐

外山 祐希美

尾湯 竜之介

片山 北翔

武田 凌

この計画の背景

- ・ 男女格差がある。
- ・ 犯罪率が高い。
- ・ 教育機関が乏しい。
- ・ 若者の流失。
- ・ 少子高齢化による過疎化。

解決策：男女格差

日本語

日本語では「私、僕、俺」や「あなた、お前」など人によって使い分けている。

英語

英語では一人称および二人称が「I」,「You」で常に一緒。

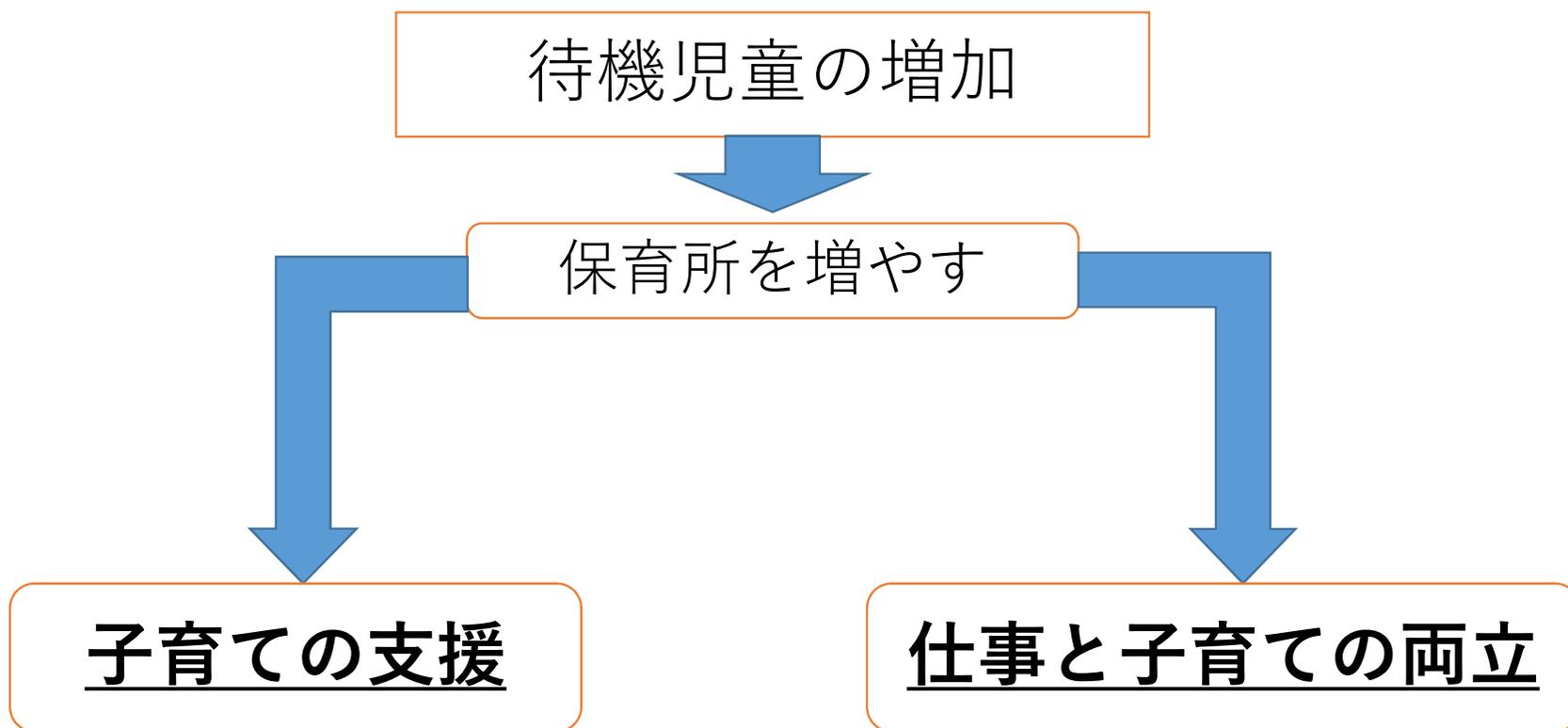
英語を公用語にすることで不平等をなくす！

解決策：公共機関の老朽化

税金が上がるが、公共機関の設備を強化する。



解決策：若者の流失



解決策：若者の流失 教育機関の乏しさ

教育支援

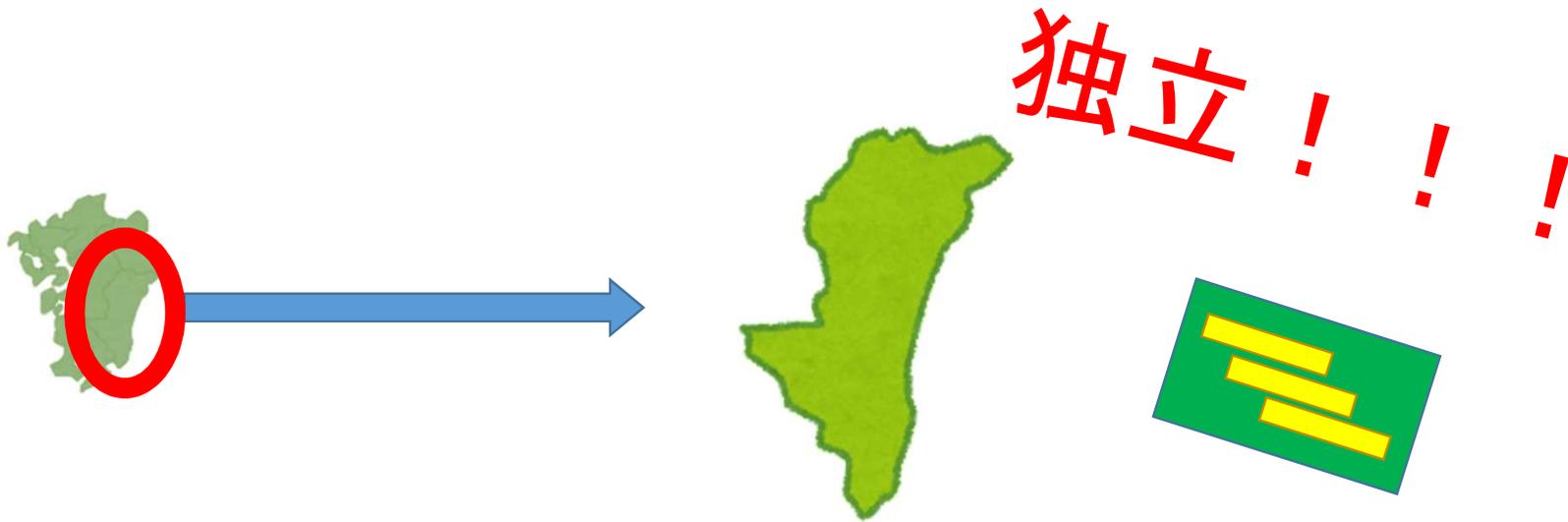
宮崎にはあまり高等教育機関がない。
そのため、若者が大学などを目指し県外に流失してしまう。

- ・ MITのような高度な高等教育機関を増やすこと
 - ・ 外からの入学を促進させること
 - ・ 教育費なども国の税金で負担する。

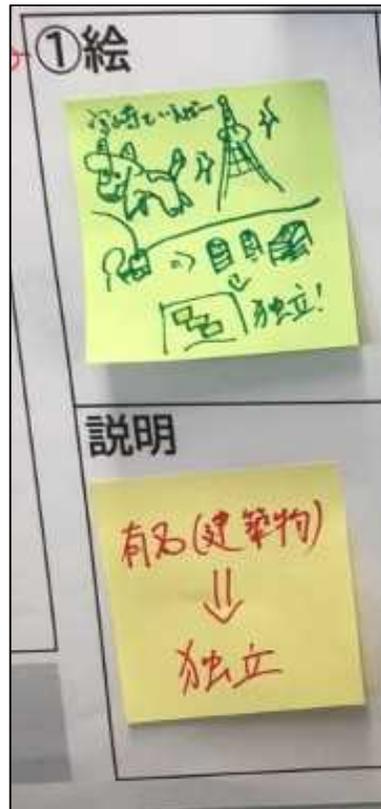
若者と優秀な人材が増える！！

私たちが目指す”国”づくり

私たちは、これらの解決策を達成するには宮崎を「**国**」にするのが最も良いと考えました。



1.有名にしてからの独立



今までの宮崎だとたくさんの問題点があった。
それらを解決する際に政府が足枷となり自由に改革を行うことができない。
そこで大きな改変として「独立」を試みたら様々な問題が解決するという考えに至った。



一番の問題点として過疎化がある。

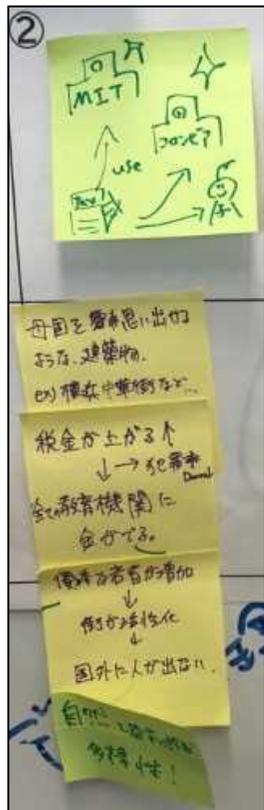


それを解決するには人を呼び込む必要がある。



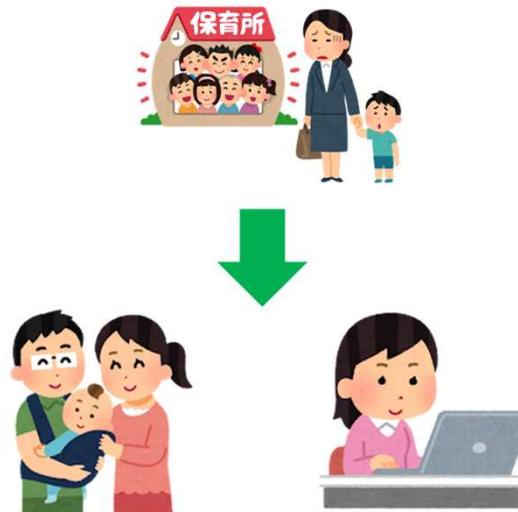
オブジェ（建築物）を作り、人口を増やす！

2.教育機関等の強化 (SDGs:4)

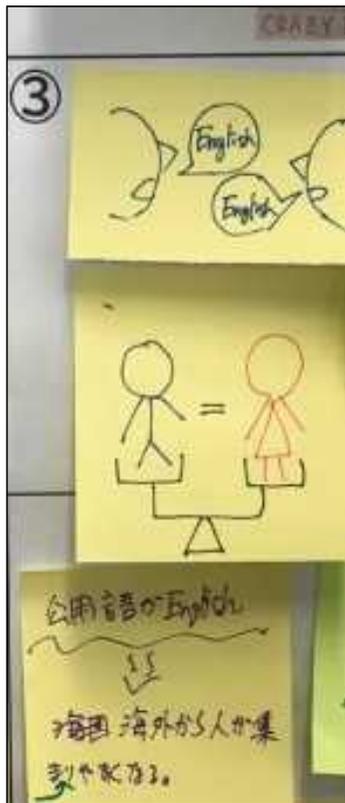


国になることで税金が上がるが…

その税金を使って犯罪の防止や教育機関に使う。
また、保育所の建設に使う。

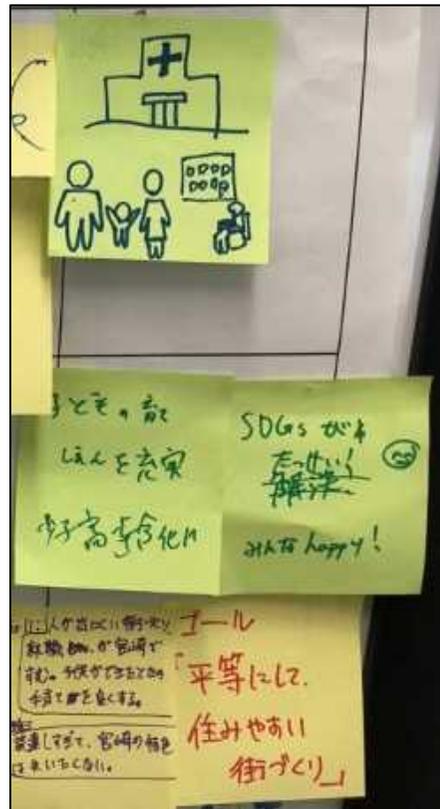


3.平等と多様性 (SDGs:10)



- ・ 公用語を英語にして男女平等社会を目指す。
- ・ 公用語を英語にすることで海外からの移住者が増える。
- ・ 彼らにとっても住みよい街を目指すために、例えば横浜中華街のような母国を思い出させるような施設をつくり、それによって多様性もUP！

4. みんなHappy!(SDGs:11)



以上で述べたようなことを実践
することで、誰もが平等で住み
やすい街づくりにつながる！

～まとめ～

先ほど述べたように今までの宮崎にはたくさんの問題点があります。

しかし、**宮崎を「国」にする**というふつうはありえない発想だからこそ、独自に改革を進めることができ、たくさんの問題点を解決できると信じています。